

松尾 真紀子 東京大学 公共政策大学院 特任准教授

〈専門分野〉 国際協力学、リスクガバナンス、科学技術イノベーション政策、ELSI、食/農業・公衆衛生分野

「ゲノム合成」に関して、最も関心のある/重要と考えるテーマ・論点・事象など

- 技術の芽から社会導入までのシステムティックなガバナンスのありかた、国内外における研究開発動向、国の研究開発プログラムやファンディングエージェンシーの運営（各省セクター横断的に実装までシームレスに結び付ける上での課題）、国プロにおけるELSIの推進・制度化
- 新興技術の規制・ルール形成のプロセス分析。
- 自然科学系と社会科学系の研究者の連携・総合知の推進。

ご自身の最近の活動として、最も関心のある/あるいは周囲でホットなテーマなど

- バイオエコノミーの推進に向けた機運の高まり・グローバル・地域におけるバイオコミュニティの形成（GTB：Greater Tokyo Biocommunityなど）
- 気になっていること：ゲノム関連データをめぐる国際的なルールについて（例えば、CBDでのDSI（Digital Sequence Information）の取扱いなど）。

〈活動紹介〉

- ・ バイオエコノミーの勉強会の企画開催してます→ <https://stig.pp.u-tokyo.ac.jp/?cat=15>
- ・ 日本の規制動向の英語論文： Makiko Matsuo and Masashi Tachikawa (2022), Implications and Lessons from the Introduction of Genome Edited Food Products in Japan, Frontiers in Genome Editing, Vol.4（査読有）, <https://www.frontiersin.org/article/10.3389/fgeed.2022.899154>



経歴・業績等
https://researchmap.jp/makiko_matsuo